

## ストロンチウム-89（メタストロン注）を用いた 有痛性骨転移に対する疼痛緩和治療について

このお薬は、ストロンチウム-89 という放射線(ベータ線)を放出する物質を含んでいます。骨の成分であるカルシウムと同じように骨に集まりやすく、骨転移病巣に集積し、直接ベータ線を病巣部分に照射することが可能です。その作用により、骨転移における疼痛緩和に有効とされています。

投薬は静脈注射で行い、その後お帰りいただけます。ただし、事前に診察、血液検査、画像検査を受けていただき、治療の適応があるか否かの判定が必要です。このお薬に含まれるストロンチウム-89 は、尿や便と一緒に体外へ出ますので、注射後、特に1週間以内は衣類の洗濯を別にする、トイレを使用後2回流すなど、いくつかの注意が必要となります。

効果は、通常、1回投与で投与後1~2週間から緩徐に発現し、数ヶ月間持続します。また投与後3~5日後に一時的に痛みが強くなることがあります。本薬により疼痛緩和が得られるのは50%であると言われています。重要な副作用として血小板、白血球の減少などの骨髄抑制が知られています。そのため投与後、定期的に血液検査が必要となります。ある程度効果が見られた場合は、3ヵ月以上あけて再投与をすることも可能です。

### 適応

- ・ 固形がんの有痛性骨転移  
(骨転移の神経圧排による神経関連痛には効果がありません)  
(溶骨性は効果が低いと言われています)
- ・ 痛みがなくなれば、通常の日常生活がおくれる方

### メタストロン注による治療を依頼される先生方へ

治療を依頼される場合は、医療連携室にて放射線治療の枠で予約をおとりください。受診時は、骨シンチ、CT/MRIなどの画像、血液検査データおよび依頼書、チェックシートを持参させて下さい。検査未施行の場合は患者様と相談の上、追加検査させていただきます。放射線科受診時に適応の確認、投与日、投薬後の過ごし方などについて患者さんおよびご家族に説明させていただきます。

お問い合わせ	国立病院機構災害医療センター
受付時間	平日（月～金）8:30～17:00
医療連携室	TEL：042-526-5613（直通） FAX：042-526-5547
放射線治療室	TEL：042-526-5511（内線）1187 [火～金 9:00～17:00]